

2002年3月18日  
主催（財）水野スポーツ振興会

## 「2001年度 ミズノ スポーツライター賞」受賞者決定

財団法人 水野スポーツ振興会（会長：水野正人 ミズノ社長）では、'90年度より「ミズノ スポーツライター賞」を制定し、スポーツに関する報道・評論およびノンフィクション等を対象として、優秀な作品とその著者を顕彰しています。

3月15日、高輪プリンスホテルで2001年度 選考委員会を開き、受賞作品および受賞者を以下の通り決定いたしました。

【ミズノ スポーツライター賞 優秀賞】（トロフィー、副賞 賞金各50万円）

- ・『いつもキャッチボールが教えてくれた』 佐藤 倫朗氏 （東洋経済新報社）
  - ・『知と熱 日本ラグビーの変革者・大西鐵之祐』 藤島 大氏 （文藝春秋）
  - ・『仕事の風景 球場去りし後』 森 哲志氏 （朝日新聞社東京本社社会部）
- 詳細は別記の通りです。

（お問合せ先）

（財）水野スポーツ振興会 事務局	内橋	TEL. 03 (3233) 7009
ミズノ広報室	小西・木水	TEL. 03 (3233) 7037
ミズノ大阪広報室	高橋・薬師寺	TEL. 06 (6614) 8373

## 記

名 称：2001年度 ミズノ スポーツライター賞

制 定 目 的：スポーツに関する優秀な作品とその著者（個人またはグループ）を顕彰してスポーツ文化の発展とスポーツ界の飛躍を期待するとともに、これからの若手スポーツライターの励みになる事を願い制定

選 考 対 象：主として新聞・雑誌・単行本などを通じて書かれたスポーツ分野の報道・評論・ノンフィクション等で、当該年度に発表されたもの

選 考 委 員：委員長 岡崎 満義 氏（元文藝春秋社取締役、「ナンバー」初代編集長）  
委 員 田 英夫 氏（ジャーナリスト、前参議院議員、  
元共同通信社 社会・文化部長）

〃 廣 堅太郎氏（(財)日本体育協会評議員、元広報委員会委員長）

〃 松本 千代栄氏（お茶の水女子大学名誉教授、  
(社)日本女子体育連盟会長）

〃 村上 龍 氏（作家）

〃 水野 正人 氏（(財)水野スポーツ振興会会長、ミズノ社長）

※50音順

対 象 者：日本人および日本在住の外国人

受賞者及び選考理由：

●『いつもキャッチボールが教えてくれた』 佐藤 倫朗 （東洋経済新報社）

野球から独立した「キャッチボール」というものがあつた。それは日本のスポーツの原風景だつた。明治以降の日本文化の大切な一部分だつた。父親と、兄弟姉妹と、そして友だちと遊んだその思い出は懐かしく、ほのぼのとした郷愁を誘う。それは単なる遊びではなく、貴重なコミュニケーションのひとつであり、人と人、心と心をつなぐものであつた……。この本を読むと、誰しも子ども時代の家族や友を思い出し、親を思う。どこか心が癒される。

文章もさりげなくていい。ただ郷愁のためにかかれた本ではないし、さりとて日本の子どもの危機を救うのはキャッチボールだと声高に主張しているのでもない。キャッチボールの話なのだが、子どもが大人になっていく過程でいつか感じる親への「郷愁」のような思いもさらりと描かれる。

●『知と熱 日本ラグビーの変革者・大西鐵之祐』 藤島 大 （文藝春秋）

早大のラグビー部監督として伝統の早明戦の名勝負を戦い、また日本代表監督として、ラグビーの王者オールブラックスのジュニアチームから勝利をもぎ取り、『闘争の倫理』を著して独自のスポーツ観を展開した勝負師・大西の生涯を思い入れたっぷりに書き切つた人間ルポである。著者も早大ラグビー部に籍を置いたことがあり、また著者がコーチを務める高校チームが大西の高校チームと戦つた戦歴もあり、それを機縁に著者へのインタビューを何度か行つている。それらを土台にしつつ、大西の知

友、妻、好敵手、鍛えられ指導された選手たち、取材した記者たちの記憶と証言を集め、著書の文言を引き、大西の人柄と行動を浮かび上がらせようとしている。

勝つためには徹底して相手を研究する知性が欠かせないが、同時に試合の間では理屈を越えた熱狂こそが勝負を左右する、と主張した。

●『仕事の風景 球場去りし後』 森 哲志（朝日新聞 東京本社社会部）

「仕事の風景」という一連の連載のなかで、とくに元プロ野球選手であった男達の「球場去りし後」に焦点をあて、人間ドラマを楽屋裏から描くことを一貫したテーマとして追求したものである。球団から解雇を申し渡されたり、自ら身を引いたりしたその後の人生が、この連載の目の付け所で、野球人生は一場の夢であり、人生の大事な思い出には違いないが、それにこだわってもし方がない、という冷めた見方をしている。

人生のある時期にプロ野球の世界で脚光を浴びたり栄光を手に入れたが、その後転身して普通の市民になった男たちを集めた、オムニバス形式の野球ノンフィクションである。

(以上)

<参考資料>「ミズノ スポーツライター賞」過去の受賞作品

●第1回（'90年度）

- |                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 「ヒマラヤを駆け抜けた男」  | 佐瀬 稔 氏（発行：東京新聞出版局）        |
| 「衝撃」           | 山本 茂 氏／長谷川 公之 氏（発行：テレビ朝日） |
| 「アジアスポーツの新しい風」 | 毎日新聞社 東京本社運動部（掲載：毎日新聞朝刊）  |
| 「たうんステージ」      | 京都新聞社運動部（掲載：京都新聞夕刊）       |

●第2回（'91年度）

- |                         |                                  |
|-------------------------|----------------------------------|
| 「スポーツ山脈」および「われら熱中派」     | 信濃毎日新聞社編集委員 鷹野 春彦 氏（掲載：信濃毎日新聞朝刊） |
| 「メディアの群像」               | 橋本 一夫 氏（掲載：大修館書店刊「月刊体育科教育」）      |
| 「帰らざる季節…中島 悟 F1 五年目の真実」 | 吉井 妙子 氏（発行：文藝春秋）                 |
| 「父の背番号は16だった」           | 川上 貴光 氏（発行：朝日新聞社）                |
| 「タイガー・モリと呼ばれた男」         | 早瀬利之氏（スキージャーナル社）                 |

【特別賞】

川本信正氏（スポーツ評論家）

60余年にわたり第一線のスポーツ評論家として活動。平和運動家としてのオリンピックズムの啓蒙に努めている。

●第3回（'92年度）

- 「バルセロナ五輪」連載企画報道 毎日新聞社 五輪取材チーム（掲載：毎日新聞朝刊）  
「DAY'S」五輪コラム 日刊スポーツ新聞社 後藤 新弥 氏（掲載：日刊スポーツ）  
「ニュースの目」 共同通信社 浅田 修司 氏（発行：大修館書店刊「月刊体育科教育」）  
「スポーツウィークリー」 秋田魁新報社 社会部（掲載：秋田魁新報夕刊）  
「リングサイド・マザー」 松永 喜久 氏（発行：河出書房新社）

●第4回（'93年度）

- 「もうひとつの風景」連載企画報道 東京新聞社 佐藤 次郎 氏（掲載：東京新聞）  
「スポーツすぺしゃる&たうんガイド」連載企画報道 北海道新聞社運動部・社会部  
（掲載：北海道新聞夕刊）  
「ビバ！サッカー」 牛木 素吉郎 氏  
（掲載：ベースボールマガジン社刊「サッカーマガジン」）  
「野球とクジラ」 佐山 和夫 氏（発行：河出書房新社）  
「女たちのプレーボール」 桑原 稲敏 氏（発行：風人社）

●第5回（'94年度）

- 「広島アジア大会」連載企画報道 共同通信社 広島アジア大会取材班  
「SPORTS にいがた」連載企画報道 新潟日報社報道部・スポーツ担当  
（掲載：新潟日報夕刊）  
「ウォッチング<スポーツの広場>」連載企画報道  
谷口 源太郎 氏（掲載：東京新聞夕刊）  
「リターンマッチ」 後藤 正治 氏（発行：文藝春秋）

●第6回（'95年度）

- 「世界体操鯖江大会」報道・連載 福井新聞社 編集局世界体操取材班  
「すぽーつ・あ・い 〜ブラウン管からみたスポーツ〜」 杉山 茂 氏  
（掲載：(財)日本体育協会「スポーツジャーナル」）  
「世紀末スポーツと切り結ぶ ―報道者の自己批判―」 大野 晃 氏  
（掲載：大修館書店刊「月刊体育科教育」）  
「競走馬の文化史 ―優駿になれなかった馬たちへ―」 青木 玲 氏（発行：筑摩書房）  
「球児たちの復活」 佐藤 光房 氏（発行：あすなろ社）

●第7回（'96年度）

- 「オリンピック新世紀」企画連載報道 読売新聞社 東京本社運動部取材班  
「断層」「叫び」ほか 金子 達仁 氏（掲載：文藝春秋刊「ナンバー」）  
「日韓キックオフ伝説」 大島 裕史 氏（発行：実業之日本社）  
「汚れた金メダル」 松瀬 学 氏（発行：文藝春秋）

●第8回（'97年度）

- 「部活動は今」連載企画報道 埼玉新聞社 運動部部活動取材班  
「夢フロンティア・スポーツ大国の実像」「ユーロスタジアム・欧州スポーツ新時代」  
「キャンパススタジアム」 読売新聞社 東京運動部取材班  
「夢をつなぐー全盲の金メダリスト河合純一物語」  
澤井 希代治 氏（発行：ひくまの出版）

●第9回（'98年度）

- 「原色のアジア」連載企画報道 読売新聞社 東京運動部  
「志村正順のラジオ・デイズ」 尾嶋 義之 氏（発行：洋泉社）  
「夢、未だ盡きずー平木信二と吉岡隆徳」 辺見 じゅん 氏（発行：文藝春秋社）  
「6月の軌跡ー98フランスW杯日本代表39人全証言」  
増島 みどり 氏（発行：文藝春秋社）

●第10回（'99年度）

- 「魔術師」 立石 泰則 氏（発行：文藝春秋）  
「血と知と地」 吉川 良 氏（発行：ミデアム出版）  
「カープ球団創設50年史」企画連載報道  
中国新聞社 運動グループ  
カープ50年取材班

●第11回（'00年度）

- 「モンゴル野球青春記」 関根 淳 氏（太田出版）  
「サッカー監督という仕事」 湯浅 健二 氏（新潮社）  
「アマススポーツNOW」 中国新聞社／編集局運動グループ